

# TMOQ アピール文書

2020年3月25日 作成

2020年3月29日 改訂

## 【ソフト名】TMOQ

“TMOQ”と書いて「特大もつきゅ」と呼びます。愛娘が命名しキャラクターデザインしたものです。

## 【コンピュータ将棋大会実績】

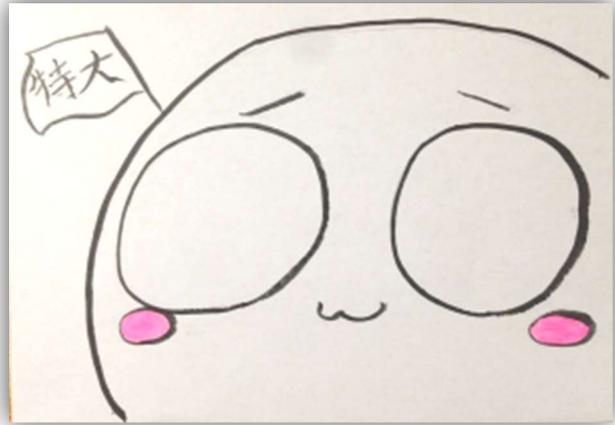
WCSC26： 一次予選 36 チーム中 15 位

WCSC27： 参加辞退

SDT5： 42 チーム中 23 位

WCSC28： 一次予選 40 チーム中 16 位

WCSC29： 一次予選 40 チーム中 23 位



## 【TMOQの特徴】

好きなコンピュータ将棋を題材にプログラミング技術を学ぶ、と共に自分の理想の対局相手として育てるべく、将棋ソフトをいじっております。が、この将棋ソフトの強いことときたら、先日も王手龍取りをくらい泣きそうになりました。でも、そんなことで負けないのが人間の強さ、対抗措置として『**王手禁止**』をルールに入れました、これで一安心。もちろん全くの王手禁止だとコンピュータも勝てないので、詰みがあるとき、定跡および読み筋が王手のみの時は例外としました。このルールで WCSC もチャレンジしようと思います。さて、このルールで TMOQ は、どのような成長をするのか？ WCSC でどの程度通用するのか？

## 【使用ライブラリ】

山岡忠夫氏の「DeepLearningShogi」(Latest commit 7cc841a on 24 Feb) (GPL ライセンス) を使用させていただきました。

## 【定跡について】

棒銀を指すよう調教した「まふ定跡」(WCSC28 で使用) に、千田先生の「C-Book」(20180802 版)、磯崎元洋氏公開の「100 テラショック定跡」と floodgate (2015 年 1 月-2020 年 2 月) の Rating 3000 以上のソフトの勝者棋譜をマージし、1,000 万手を超える定跡ファイルを準備しました。定跡の目的は主に序盤で変な手を指しての早期投了を避けるためです。

## 【学習について】

平岡拓也氏作成の初期局面ファイルに floodgate (2015 年 1 月-2020 年 2 月) の Rating2300 以上のソフトによる棋譜をマージし、瀧澤誠氏の elmo\_for\_learn で教師局面を生成して学習を行いました。その後、『**王手禁止**』ソフト同士の自己対戦による強化学習を継続。

## 【作者】

宮崎の生まれ、幼少の頃より将棋を嗜むも、指し将棋は 5 級程度 (初段の免状は保有)。IT 企業で働いておりますが、主に管理系の仕事で海外を飛び回ることが多く、10 年ほど仕事で開発を行っておりません。大好きなプログラミングを行うため、将棋のソフトに触り始めました。

今回も山岡忠夫氏をはじめ、多くの方の公開情報により何とか参加できました。この場を借りて、御礼申し上げます。